

氏名	野村修一
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第1773号
学位授与の日付	昭和62年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	Diastolic property of left ventricle under experimental volume overload (実験的容積負荷心における左室拡張期特性)
論文審査委員	教授 中山 沃 教授 原岡昭一 教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

容積負荷心の拡張期特性を明らかにするために実験的に容積負荷モデルを作成し、左室拡張期弾性特性の面から経時的に検討をおこなった。実験には犬を用い、完全房室ブロックを作成して徐脈による容積負荷をおこなったところ左室に遠心性肥大を生じた。完全房室ブロック作成直後、8～14日後及び2～4カ月後の3時期にわけて諸測定をおこなった。左室内圧曲線と左室Mモード心エコー図の同時記録をおこなって拡張期圧容積曲線を描き、心室弾性指標と心筋弾性指標を算出した。容積負荷により拡張期圧容積曲線は偏位したが心室弾性の変化は伴っておらず、又、心筋弾性の変化も生じていないことが明らかとなった。

論文審査の結果の要旨

本研究はイヌで完全房室ブロックを作成し、その直後、8～14日後、2～4カ月後の容積負荷心における左室拡張期弾性特性を計測した結果、遠心性肥大により拡張期圧容積曲線は右方に偏位するが、左室の弾性特性の変化を伴うものではないことを明らかにしたもので、容積負荷心疾患における左室拡張期特性に関して重要な知見をえた価値ある研究業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。